予算質疑

平成19年度補正予算等を問う

阿南澄男 議員

問 池新田地区工業団地造成工事の予定地、約11町歩の内、碁盤の面のように占めている財産区所有地は1・4町歩で、約12％になり、造成事業を完成するには財産区の協力が不可欠です。

担当課まかせで複雑化し、友好・協力関係が損なわれる前に市長自ら交渉する時期ではないか

答 現在計画しております池新田工業用地内の道水路のほとんどが池新田財産区有地になっており、池新田工業用地造成事業を推進していく上で必要不可欠な用地と考えておりますので、交渉レベルを上げて対応します。

問 ケーブルテレビ事業工事費は、電子機器の更新事業で、今年度と20・21年度に予定されているデジタル化対応整備工事等3ヶ年の工事費は、約19億円となります。放送施設は耐用年数が短く、機器は5～6年、伝送路設備は10年で更新が必要であり、多額な費用を要しますが、平成27年度までの予想される更新と改良の年度と費用は。また、現在の年5、000万円の維持基金では微々たるものであり、減価償却を考慮した基金の積増しが必要では

答 平成12年度より約52億円かけて整備してきました施設も更新の時期がやってきており、22年度に御前崎地区サブセンター設備・家庭用機器の更新で約9億円、24年度に浜岡地区伝送路設備に約7億円、26年度に御前崎地区伝送路設備に約5億円で、19年度から26年度の合計で約40億円の更新経費が必要と見込まれます。施設維持基金については、財政状況の厳しい中ですが、何とか積立を考えます。

杉浦謙二 議員

ケーブルテレビのデジタル化について

問 ①全体計画は

答 平成16年度整備した御前崎地区は、デジタル化となっております。平成12・13年度に整備した浜岡地区の対応ができていませんので、今回、デジタル化に向け整備するものです。平成18年度基本設計、19年度実施設計、20年度から工事の計画です。20年度に局舎内のセンター設備等の更新、21年度に浜岡地区の家庭用機器の更新を行います。

問 ②予算総額は

答 18年度の基本設計費799万6千円、19年度実施設計費に2、814万円、20年度の整備費6億7、000万円、21年度整備費に10億500万円の合計17億1、113万6千円の予定です。

問 ③今後のスケジュールは

答 20年度から局舎内のセンター設備等の更新工事、家庭用機器更新工事は21年9月頃開始し、22年3月終了の予定です。

問 ④放送の予定は

答 「まおまおチャンネル」のデジタル放送は21年11月より放送予定です。アナログ放送も併用して放送しますが、アナログ放送は22年3月末をもって終了予定です。地上波6波（NHK・SBS・テレビ静岡・テレビ朝日・第一テレビ）のアナログ放送は、国の方針どおり23年7月23日まで放送いたします。

長嶋雄一 議員

電源三法工事について

問 今回の補正費は当初予算の誤りや是正ではなく単に増額修正です。当初予算の意義と財政計画や事業計画を著しく逸脱するものです。目的と趣旨の整合性は

注（平成13年10月18日総合開発策定委員会で地区民の体位体力の向上に資する。また学校週5日制を鑑み児童生徒のスポーツ活動施設の拠点そして災害時の地区民の避難施設として活用する。）

増額分は地元負担金で補正するそうですが慎重にお願いします

答 補正の主なものは多目的ホールの音響対策・舞台設備の充実です。地元の要望により、音響や演劇・音楽発表会ができるよう設備を充実するのが目的です。

当初予算に計上すれば良かったのですが内容に変更が生じ積算がずれ込みました。財源は地元寄付金で充当します。